



SDGs&カーボンニュートラルに参画しよう

市民力、地域力を育むまち

教育・連携

みんながなかよく くらせるまちへ 国際交流協会のしごと

わたしたちが住んでいるまちには、日本人だけでなく、いろいろな国の人たちがくらしています。ちがう国のことば、文化、習慣をもつ人たちが、いっしょに助け合ってくらすために、能美市には「能美市国際交流協会（のみしこくさいこうりゅうきょうかい）」という団体があります。

この協会では、外国から来た人たちが安心してくらせるように、日本語の勉強を手伝ったり、生活の相談にのったりしています。また、外国の文化を伝えるイベントや、みんなで話し合う交流会などもひらいています。

国際交流協会のしごとが貢献（こうけん）しているSDGs（エスディージーズ）のゴール



①ゴール4／質の高い教育をみんなに

日本語の勉強を手伝うことで、外国から日本にきた人も勉強ができるようになります。



②ゴール10／人や国の不平等をなくそう

どこの国の人でも、ちがいがあっても、同じように大切にされる社会をつくることが目標です。



③ゴール11／住み続けられるまちづくりを

いろいろな国の人安心してくらせるまちにすることで、だれにとっても住みやすいまちになります。



④ゴール16／平和と公正をすべての人に

ちがいをみとめあい、トラブルや差別がない社会をつくることに役立っています。

カーボンニュートラルへの貢献

国際交流協会の活動そのものは、CO₂（二酸化炭素）をたくさん減らすような活動ではありません。でも、地球を守る行動を世界の人といっしょに考えるチャンスをつくっています。

わたしたちにできること

わたしたちも、ちがう国の人たちと話してみたり、文化について調べたりすることで、多文化をみとめることができます。

そして、みんなでいっしょに地球をまもる行動ができれば、もっとすてきな未来がまっていると思います。

国際交流協会の人たちのように、やさしさと、ちがいをみとめる心をもって、わたしもすごしていきましょう。

たとえば

イベントでエコバッグづくりをしたりごみの分け方を外国からきた人にも教えることで、みんなが環境にやさしい生活ができるようになります。

